農地法第５条の規定による許可申請書

記載例

令和〇〇年〇〇月〇〇日

大阪府知事　様

※押印不要ですが、申請者もしくは、代理人の本人確認が必要となります。

申請者
譲受人（被設定人）　大阪　太郎　（他　　名）
譲渡人（設定人）　近畿　花子　（他　　名）

下記のとおり転用のため農地（採草放牧地）の　所有権　を　移　転　したいので、農地法第５条第１項の規定により許可を申請します。

記

１．当事者の氏名（名称）、住所

当事者の別	氏名（名称）	住　所	備考
譲受人	大　阪　太　郎	羽曳野市誉田〇丁目〇番〇号	
譲渡人	近　畿　花　子	羽曳野市古市〇丁目〇番〇号	
	以　下　余　白 ← 必ず記入すること		

２．許可を受けようとする土地の所在等

合計　１　筆　1000 ㎡（田　　　　㎡、畑　1000 ㎡、採草放牧地　　　　㎡）

土地の所在	地番	地目 登記簿	地目 現況	面積（㎡）	所有権以外の使用収益権が設定されている場合 権利の種類	権利者の氏名	備考
誉田〇〇丁目	〇〇番地	田	畑	1000	近畿花子	近畿花子	
以　下　余　白 ← 必ず記入すること							

※所在・地番・地目・面積は土地登記簿謄本と必ず同一であること

３．転用計画

	用　途	事由の詳細
(1)転用の目的	個人住宅・露天駐車場・資材置場等	〇〇〇〇〇〇〇〇・・

(2)事業の操業期間又は施設の利用期間　令和　〇〇年　〇〇月　〇〇日から　〇年間

(3)転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要

※「許可日」でも可

工事計画	工期（着工　令和〇〇年〇〇月〇〇日　から　令和〇〇年〇〇月〇〇日まで）				
	名　称	棟　数	建築面積(㎡)	所要面積(㎡)	備　考
土地造成				1,000	
建 築 物	住　宅	1	150		
工 作 物	土留め擁壁	（ℓ=100m）		100	平均 h=1.0m
計		1	150	1,100	

４．権利を設定・移転しようとする契約の内容

権利の種類	権利の設定・移転の別	権利の設定・移転の時期	権利の存続期間	その他
所有権	設定・移転	許可後	永　年	

５．資金調達についての計画

※事業資金については、確認のため、通帳の写し・融資申込み書等が必要

事業資金	自己資金	〇〇〇〇千円	支出金	土地購入費	〇〇〇〇千円
	融資資金　等	〇〇〇〇千円		造成工作物工事費	〇〇〇〇千円
	合　計	〇〇〇〇千円		合　計	〇〇〇〇千円

６．転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要

排水については公共下水道（水路）に排水し、近隣農地には工事中も含め被害が発生しないようにします。
等

７．その他参考となるべき事項

〇〇〇〇〇〇・・・・・・・・・・・
許可書は申請当事者全員の合意により（〇〇会社　担当〇〇　TEL　〇〇〇〇〇〇〇〇〇が受領します。

（記載要領）

(1)　記１及び記２については、空欄には以下余白と記載すること。また、この用紙に全部を記載できない場合は、継続用紙に記載すること。

(2)　法人の場合は名称、代表者の氏名、主たる事務所の所在地を記載すること。

(3)　記３の工事計画については、工事計画の期間が長期にわたるものである場合は、６箇月単位に区分した工事計画表を添付すること。

(4)　申請書への押印は不要ですが，提出時に本人確認させていただきます。

(5)　これまでどおり、押印された書面を提出されても手続きに支障はありません。

(6)　譲受人が法人である場合、「定款の写し」「寄付行為の写し」「登記事項証明書」のうち、どちらか一方を添付し、譲渡人が法人である場合は添付不要とする。

（別紙１）

当事者の氏名（名称）、住所

当事者の別	氏　名（名称）	住　　所	備考

（別紙２）

許可を受けようとする土地の所在等

土地の所在	地番	地目		面積（㎡）	所有権以外の使用収益権が設定されている場合		備考
		登記簿	現況		権利の種類	権利者の氏名	